



川の学習「教師向け臨地研修会」



地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えを持つことができるようにする。

- ア 流れる水には土地を浸食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする力があること
- イ 上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること
- ウ 雨の降り方によって流れる水の速さや水の量が変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること

上記は、小学校5年生理科の学習の一部です。川に関する十分な知識経験がない富士河口湖町の子ども達にとって、実体験を通して学習内容を理解することは大変有効です。しかし、いつ、どこで学習の機会を持つかという点と先生方を悩ますところでもあります。そこで、教育センターは5年生を対象に「川の学習」として体験学習の場作りに取り組んできました。二学期が始まるとすぐに「川の学習」が始まります。それに先駆け、8月18日に5年生の先生方を対象に都留市の鹿留川に於いて臨地研修会を行いました。当日は、渡邊正利先生と小立小学校の高尾久美子先生に講師をお願いし、子ども達との学習の進め方やポイント、川の危険箇所の確認などの事前学習をしました。

前日の雨にも関わらず、水は底が見える程澄んでいます。流れが岩にぶつかり聞こえる音には雄々しさを感じます。水しぶきは暑さを吹き飛ばしてくれます。涼を求めて来たのではないけれど、川の持つオーラに学習意欲も高まり、先生方も川のエネルギーを全身で感じていました。

学習予定日には天気にも恵まれ、町内のすべての5年生が「川の学習」を体験し、川への理解を深められる様に願っています。

外国語活動研修会

現在、英語の授業が週に1時間5・6年生に実施され、将来的には5・6年生の教科化、及び3・4年生の実施が進んでいます。通常、授業はALTと担任と二人で行っていますが、その指導法に関わって、8月5日に外国語活動研修会が行われました。インタラック（語学教育提供事業）より中島美佐先生を講師にお招きし、効果的な授業の進め方について演習形式でお話を伺いました。世界の人々が訪れるこの町で、子ども達がグローバルにコミュニケーションを取る姿があちらこちらで見られる日は確実に近づいています。

